

1) 講習会・講演会等の開催

国広潮里¹・板井英伸²

キーワード：一般向け 専門家向け 企画展 美ら島・美ら海子ども工作室 美ら島自然学校 子ども 親子

1. はじめに

当財団では、亜熱帯性動植物に関する調査研究や公共施設の管理をする中で蓄積されたノウハウ、研究成果等を社会に広く発信し、多くの方々に亜熱帯性動植物に関する学習の機会を提供する普及啓発事業として、子どもから大人までを対象にした各種教室等を実施している。これは、一般市民を対象とした講演会だけではなく、研究・調査機関などの業務に携わる社会人や大学生等を主な対象とした、専門的（学術的）な内容・学びの機会として専門家講習会も含まれる。以下に令和5年度の実施状況を報告する。

2. 実施結果

1) 一般向け及び専門家向け講習会・講演会等

(1) 企画展「さがそう！自由研究のタネ」

概要：沖縄の小中学生が取り組む夏休みの自由研究に関連づけた展示とワークショップを行うことで、学習を補助することを目的とした。併せて、財団が行う調査研究等の取り組みを紹介し、県民への周知を図った。

講師：総合研究所職員

実施日：令和5年7月25日（火）～7月30日（日）

実施場所：沖縄県立博物館・美術館

県民ギャラリー、県民アトリエ

県内の小中学生を中心に、6日間で延べ1,973名が来場した。展示に加え、実際に体験できるワークショップを実施した。後日、数組の来場者が自由研究の相談のため、美ら島自然学校へ来校したことから、科学への興味関心を高められたと考えられる。



写真-1 「さがそう！自由研究のタネ」
ワークショップ

(2) 企画展およびシンポジウム

企画展「祈りの海 祭りの中の漁撈」

概要：久高島ならびに多良間島で地域の成員が祭りの際に総出で行う漁撈の様子を、現地調査の際に撮影した写真と映像で紹介した。会期中は延べ1,662名が来場し、来場者からは離島での開催や再度の開催を望む声も聞かれたことから、普及啓発効果があったものと思われる。

実施日：

令和5年12月24日（日）～令和6年1月28日（日）



写真-2 企画展「祈りの海 祭りの中の漁撈」

(3) 研究室からの講演会「環境DNA調査のお話」

概要：海などから採取した水から、周辺にどのような生物がいるのかを解析する環境DNA調査について講演会を実施した。（参加者7名）

講師：岡 慎一郎（動物研究室）

実施日：令和5年10月21日（土）

実施場所：美ら島自然学校、嘉陽海岸



写真-3 「環境DNA調査のお話」

2) 親子、子どもを対象にした各種教室

(1) 美ら島自然学校学習会

美ら島自然学校学習会では、自然環境の不思議や面白さを伝えることを目的に、屋内観察や野外観察などの体験を通じた学習会を行っている。

今年度は、ウミガメの産卵調査体験「ウミガメ産卵しちょんどー！（連続講座）」に13名、夜間見られる虫を観察し、図鑑を作成する「ナイトバグズハンター！（連続講座）」（写真-4）に18名、宇宙について学び、星を観察する「美ら島スターナイト」に17名、実際の植物調査を体験する「研究員といく海岸植物調査体験」（写真-5）に9名の参加があった。

連続講座である「ウミガメ産卵しちょんどー」の参加者からは、事前学習があることで学びが深まるとの声があった。今後も学習内容がより定着する方法を検討し実施していく。



写真-4 「ナイトバグズハンター！（夜間の観察）」



写真-5 「研究員といく海岸植物調査体験」

(2) 美ら島・美ら海子ども工作室

美ら島・美ら海子ども工作室は、主に親子を対象とし、沖縄で採集できる、動物や植物由来の材料・日常生活用品の廃材等を用いて、様々な玩具等を工作する事業である。作製過程で動植物や自然環境の豊かさと活用法を学び、創造性を養うことを目的としている。

今年度も元旦に「こども凧カーブヤーを作るとぼそう！」を開催し、13名の参加があった。後日の聞き取りにより、再び公園で凧揚げをした参加者がいたことがわかった。このことから、自身で作製したものを大切に繰り返し楽しむ気持ちを育むことができたと考えられる。



写真-6 「こども凧カーブヤーを作るとぼそう！」

3. 今後の展望

今後も、当財団職員が中心となって講師を務め、総合研究所での調査研究で得られた結果を含めた講習会および講演会等を実施していく。実施内容は、生きものの生態観察や実験、顕微鏡を使った観察や野外観察、工作などの「体験」を交えた各種教室を企画・実施する。また、気づきのきっかけとなるような五感で体験できる子ども向け講座など、参加者のニーズに合った内容を検討し、学びの機会を提供する。

4. 外部評価委員会コメント

子どもから大人まで、幅広い年代・知識層の方に対し、沖縄の動植物や歴史文化の魅力、財団が行う調査研究成果などの情報を広く、野外観察や実験等の体験を含めて、学ぶ機会を提供する社会貢献の高い事業である。内容の充実とともに今後の発展を期待する。（池田顧問：琉球大学名誉教授）